

私の好きな
まちなかスポット

「野鳥の森」は豊かな自然を感じる 場所 (多賀町一円)

芹川の上流、河内の風穴に行く途中の一円地区にある野鳥の森は、滋賀県が芹川ダムを中心に周辺の山をとりいれ整備し、昭和49年5月、常陸宮ご夫妻を迎えて「全国野鳥保護の集い」の式典が行なわれた場所です。ダム湖の周りの遊歩道は約4キロ、平坦な道な



ので歩きやすく子どもからお年寄りまでみんなで楽しめます。散策路を歩くと、鳥のさえずり、水のせせらぎ、緑のシャワーに包まれ、とっても落ち着きます。

春にはショウジョウバカマやイワナシ、オオイワカ



ガミのピンクのかわいい花を観察することができますし、夏には涼しげなコアジサイのブルーの小さな花や甘い香りでその存



在を教えてくれるホオノキの花が咲きます。実りの秋はミツバアケビの実やナツハゼの実などが食欲をそそります。



毎月第一土曜日の多賀「里の駅」集いの朝 9時から 10時15分まで野鳥の森植物観察会を行なっています。季節ごとに

変化する植物たちの姿は新鮮で、感動があります。

12月の観察会の時には豊かな里山の象徴である「オオタカ」が高い木にとまって悠々とまわりを見回している姿が観察できて、野鳥の森やその周辺の里山がすばらしい場所であると実感しました。

何度歩いててもその都度発見があるのが身近な自然のいいところです。鹿の足跡を見つけたり、水溜りにおたまじゃくしがいっぱいいるのに出会ったり、トンボが帽子にとまったり、思わず笑顔になる場所が私の大好きな「野鳥の森」です。いつまでもこの自然を残していけるようその魅力を伝えていきたいと思っています。(中川 信子)

義の旗のもとに.. 最終章 完結!

義の旗のもとに～は、「佐和山一夜城プロジェクト」の序奏で始まり・・2008春第一章「再会!」、秋第二章「友よ!」、2009春第三章「義から愛へ」、秋最終章「絆!」とした一連の佐和山「義の旗のもとに～」シリーズとして、万民の幸せと命の大切さを高く掲げ、この秋完結した。

最終章は真っ赤な紅葉で彩られ最高の舞台となった佐和山天守址で、三成と盟友達をたたえる朗読や講演ではじまり、大谷吉継との固い絆を再現した戦国甲冑劇や近江中世城址 44 箇所をのろして結ぶ賑伝等



が行われ、全国から集まった人々が、義の三将の「ゆるきゃら」と共に楽しんだ。午後からは佐和山ふもとの龍潭寺前広場でゲームやステージイベントを実施。最後は「ひこにゃん」と共に力を合わせて、来年から戦国をテーマに取り組みされる街おこしに尽力することを誓い合い、フィナーレをむかえた。

彦根景観フォーラム会員募集中 ブログ <http://hikonekeik.exblog.jp>

彦根のまちについて夢を語り合い、まちづくりを楽しむNPOです。大学の教員、建築家、会社員、商店主、公務員などが集まり、知恵と力を合わせて活動しています。詳しくは[ブログ](#)をご覧ください。

●ご連絡 e-mail: hikonekeikan@hotmail.com まで

●定例会 毎月第2水曜日 午後7時～9時 滋賀大学陵水会館 誰でも自由に参加できます。

●お問い合わせ: 彦根景観フォーラム事務局 TEL 080-1416-5968/0749-27-1141 FAX 0749-27-1431



きらっと彦根 vol. 19

彦根の魅力★再発見

彦根まちづくり誌 2010年1月10日 通巻19号 編集/発行 NPO法人 彦根景観フォーラム

「複合の美」 追求の一年に

「野に咲く多くの異なる花は野の美を傷めるであろうか。互いに互いを助けて世界を単調から複合の美に彩るのである。」

これは民藝運動家「柳宗悦」の言葉だ。グローバルな力が強く働き、地区固有性が消滅しつつある今日、「複合の美」は重視されるべき思想だと思う。

この多元的文化論をベースに、わがNPOの目指す「年輪を刻む都市」「地区の歴史を活かす都市」の議論を、より深め・より豊かにする一年にしようではありませんか。謹賀新年。

山崎一真・彦根景観フォーラム理事長



それぞれの彦根物語

浅井三姉妹、将軍家光と井伊直滋

ひこね街の駅「寺子屋力石」では、毎月《談話室・それぞれの彦根物語》を開いています。



第70回は、12月19日(土)「昭和初期の彦根」と題して、渋谷淑子さんが、父でシブヤ写真館初代館主・渋谷定次郎が

遺した写真をとおして、昭和初期の彦根の祭や風俗、戦争体験などを語られました。今回は、

【彦根物語 71】 2月13日(土) 10:30~

「浅井三姉妹、将軍家光と井伊直滋についての逸話」

畑 裕子(日本ペンクラブ会員、作家)さんです。

(三姉妹の三女・江は徳川秀忠と再々婚し、千姫、三代目将軍家光、中宮和子など二男五女を生む。また、井伊直孝の長男直滋は家光から寵遇を受けながら突

多賀「里の駅」建物物語・試食会

如出家し百済寺に籠った。)

多賀「里の駅」・一圓屋敷(多賀町一円)では、12月5日(土)「一圓屋敷でみつけた絵はがき」と



題し、細馬宏通・滋賀県立大学教授が解説された後、多賀小学校の給食で開発された「多賀鍋」試食会が行われました。

1月9日(土)は、「ふるさとの味を伝える大切さ」と題して「番場ふるさと味の会」による郷土食開発のお話と、試食会は「イノシシ汁」です。

2月6日(土)は、「もっとわかった!一圓屋敷の建物物語」・滋賀県立大学濱崎一志教授による解説と、

足軽辻番所サロン・芹橋生活

多賀のぜんざいの試食会です。参加費 500円

2月21日(日) 10:30~ 芹橋2丁目「太田邸」

「中川祿郎・直弼の開国論を支えた藩校教授」

角 省三氏(滋賀作家クラブ会員・彦根景観フォーラム会員) 暖房費・資料代 200円

特集：中山道の賑わいを取り戻そう!
「鳥居本お宝発見隊」のキックオフイベント
第2回とりいもと宿場まつり

- 私の好きなまちなかスポット
「野鳥の森」は、豊かな自然を感じる場所
- 義の旗のもとに・・・最終章 完結!